

# 議会だより

# つるい

## 新総合体育館ファミスポ・アップの オープンセレモニー



国内外で活躍する指揮者 石川征太郎さんと  
鶴居中学校吹奏楽部

議員選挙まであと半年です。

### TOPICS

- 令和3年度の決算は? . . . . . P2
- 9月定例会の中身は? . . . . . P8
- 7議員が村政を問う！一般質問 . . . . . P11



鶴居村マスコットキャラクター  
「つるぼー」

# 令和3年度決算はコロナの影響を大きく受ける ふるさと納税などが増収要因！



令和3年度の決算はどうなった？

## 一般会計のあらまし

- ①歳入決算額は56億6232万円となり、前年度比2億374万円の増収となった。増収の要因は、地方交付税やふるさと納税の増加の影響によるもの。
- ②前年度に終了した新型コロナウイルス感染症関係定額給付金、畜産クラスター事業、福祉センター事業の7億1716万円が減収となっている。
- ③ふるさと納税は3142万円の増収。

令和3年度鶴居村一般会計、特別会計歳入歳出決算、財産の状況、基金運用状況について延べ12日間にわたり審査を実施した。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることとなり、臨時特別給付や緊急経済対策を講じながらも、事務・事業は効果的に執行され、健全財政を基本に産業の振興・福祉の向上、生活環境の整備、教育の充実、定住促進など、行政効果を確保し重点事業を推進したことは高く評価される。

歳入については、法人住民税や固定資産税が増加し、ふるさと納税も3142万円の増加となり、今後も期待するところである。



代表監査委員 灰塚 玲子 氏

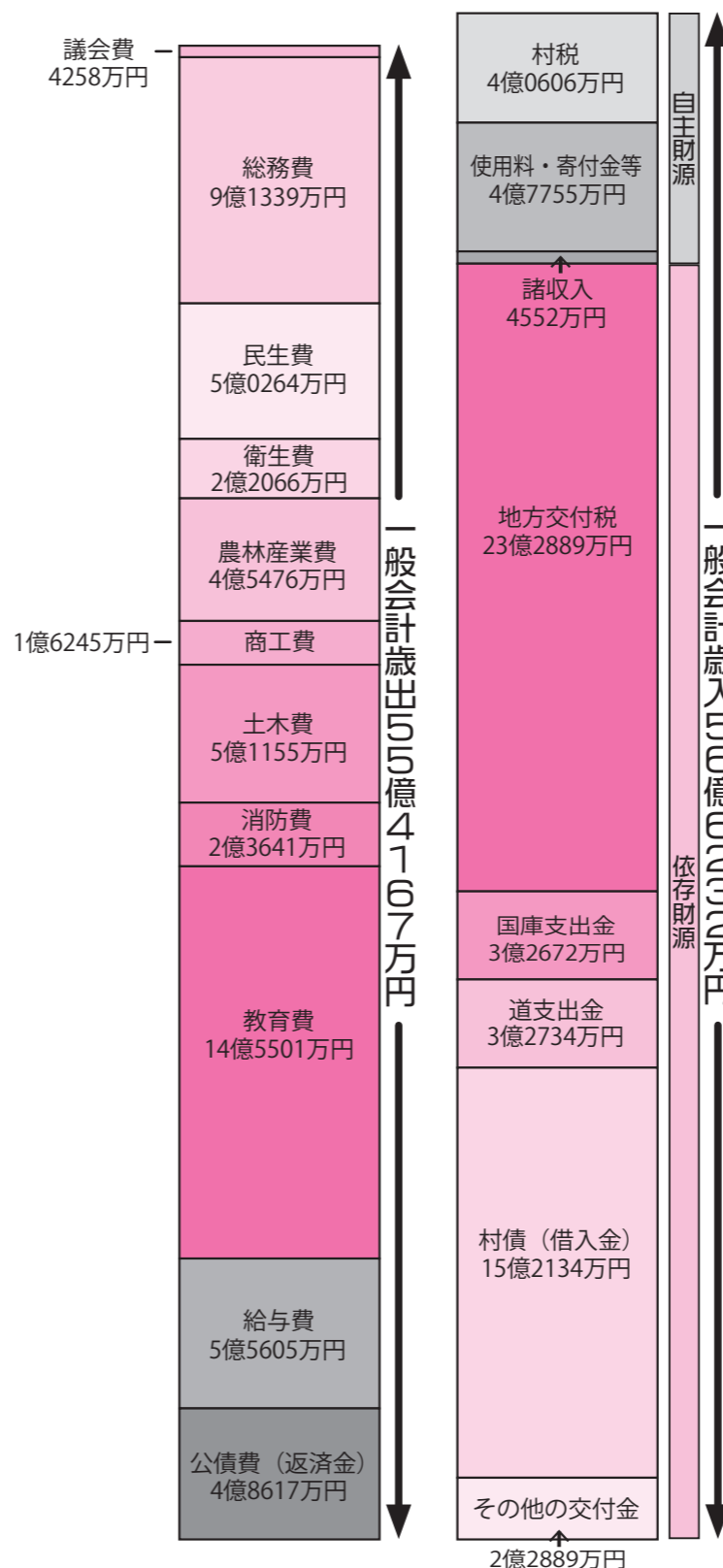
## 監査意見

また、地方交付税は基準財政需要額や特別交付金の増などにより前年度比2億6868万円の増加、国庫支出金は新型コロナウイルス感染症関係の減少で2億9091万円の減、道支出金は福祉センター建設終了などで4億2625万円の減となっている。

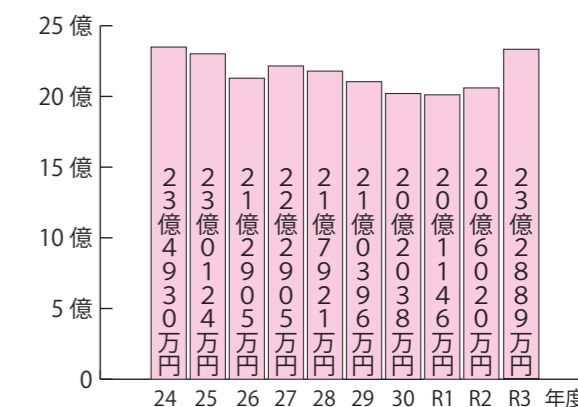
今後も引き続き村税・国民健康保険税や税外収入の庁内一体となった徴収体制を強化し、適正な滞納整理や納税意識のより一層の啓蒙、ふるさと納税事業の推進や、有益で安全を重視した基金運用により、貴重な自主財源の確保に努めていただきたい。

歳出については、将来を見据えて引き続き諸経費の節減や事務事業の効果検証に努め、現行に即した効率的・効果的な事業を執行していただき、今後も長期計画に基づいた行財政運営によって、健全財政を保持し、活力があり、村民一人ひとりが安心して暮らせる村づくりに取り組みされることを望むものである。

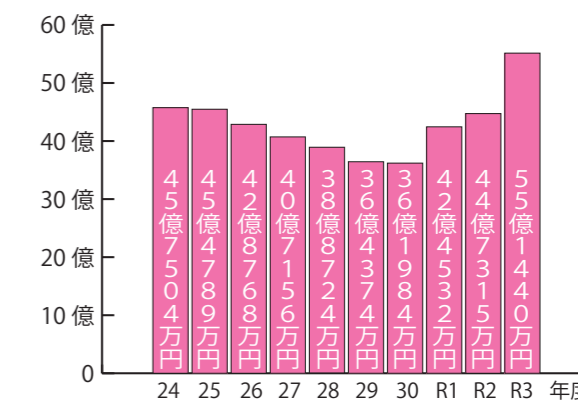
## 歳出 歳入



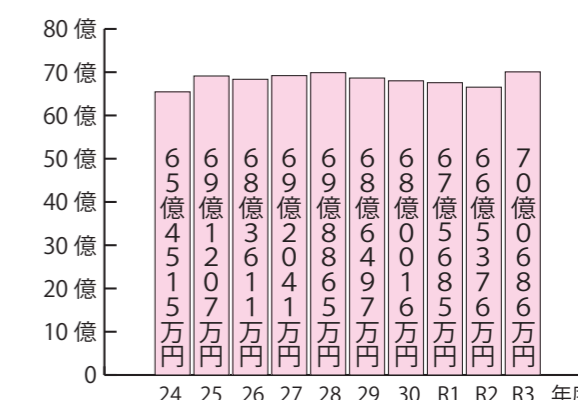
## ▶ 地方交付税の推移



## ▶ 借入金の推移 (一般会計)



## ▶ 基金残高(貯金)の推移(特別会計含む)



## 令和3年度各会計決算

会計別	歳入	前年度比	歳出	前年度比	差引余剰額	議決の内容
一般会計	56億6232万円	3.7%	55億4167万円	3.0%	1億2065万円	全員賛成
水道特別会計	1億0020万円	47.0%	9680万円	46.8%	334万円	全員賛成
農業集落排水特別会計	5723万円	▲3.2%	5566万円	▲0.3%	157万円	全員賛成
国民健康保険特別会計	3億8561万円	5.6%	3億5298万円	6.7%	3263万円	全員賛成
診療所特別会計	7537万円	▲1.5%	7536万円	▲1.5%	0	全員賛成
介護保険特別会計	2億7516万円	▲2.7%	2億6067万円	▲2.9%	1450万円	全員賛成
後期高齢者医療特別会計	4163万円	▲6.1%	4143万円	▲5.2%	20万円	全員賛成
合計	65億9753万円	3.8%	64億2458万円	3.2%	1億7294万円	

住民の声を  
どう活かしたか

# 令和3年度決算で議員が注目した事業は？ 決算委員会では7委員が64の質問をしました！

決算委員会 9月14、15日

令和3年度一般会計および特別会計の各会計決算案は、松井広道議長と監査委員の大津泰則議員を除く7議員で構成される決算特別委員会を設置し、これに付託して審査を行いました。  
事業内容や事業効率、効果などについて活発な質疑を行い、議案ごとに討論、採決を行った結果、全ての議案を「可決すべきもの」と決定しました。

▼委員長 秋里広志

▼副委員長 東 隆行



## ▼むらづくり塾

佐藤吉人議員  
むらづくり塾関係の実施状況と成果は。

企画財政課長  
村の人口減少などの課題を洗い出し、将来の村づくりについて話し合っている。塾生は5人だが、さまざまな意見を聞き新たな方向を探っている。

## ▼むらづくりチャレンジ支援金

佐藤吉人議員  
むらづくりチャレンジ支援金の実績は。

企画財政課長  
平成17年に創設して今まで31団体に交付している。令和4年度はスポーツ団体にも交付している。

## ▼新築住宅などへの支援金

吉田保博委員  
新築住宅などの建設を支援する、輝く住まいる支援金の成果は。

企画財政課長  
令和3年度は11件の対象者がいて、新築と中古住宅購入などの申請があった。総額で1500万円交付している。

## ▼空き家対策

吉田保博委員  
空き家対策計画策定調査委託は。

企画財政課長  
現在、住宅として使用できない空き家は132件ある。村に住みたい人は多いが、なかなか空き家の譲渡は難しい。

## ▼移住体験住宅

東 隆行委員  
移住体験住宅の管理費用はどんなものか。

企画財政課長  
移住体験住宅も古くなり、修理や家電家具などの備品を購入した費用。

松井洋和委員

本気で村に移住を考えている人は、優先的に体験住宅を利用できるのか。

企画財政課長補佐  
近年は、観光目的で移住体験住宅を利用されるケースが多い。  
優先制度はないが、村としては、同じ人が何度も利用するのではなく、多くの人に利用してもらえよう調整したい。

## ▼マイナンバーカードの普及状況

松井洋和委員

マイナンバーカードの普及率が交付税の算定に反映されるとの報道があるが、村の普及状況は。

住民生活課長  
現在の交付率は約37%で、全道平均が約47%となっている。  
マイナンバーの申請者は一日に4〜5件来ている。

## ▼デマンドバスの利用状況

及川満浩委員  
幌呂地区で運行しているデマンドバスの利用状況は。

住民生活課長補佐  
今までに950人が利用している。  
今後、運行に関するアンケート調査や老人クラブなどの懇談会を予定している。

## ▼ホースフェスタ

東 隆行委員

ホースフェスタの内容は。  
産業振興課長補佐  
7月に13人が参加し、馬術大会を実施している。

## ▼空家バンク

松井俊治委員  
空き家対策として古民家に住みたい人も多いのでは。

企画財政課長  
市街地の空き家には需要があるため、今後は古い住宅をどうするかなど、より実効性のある計画にしていきたい。

## ▼老人温泉無料入浴券

東 隆行委員

老人への温泉無料入浴券の交付数は。  
保健福祉課長補佐  
対象者は70歳以上の村民623人で、配布数7729枚、利用枚数は4000枚程度である。

## ▼IP告知のスマホアプリ利用状況

松井洋和委員  
IP告知端末の情報をスマホで見ることができアプリの利用者数は。

総務課長補佐  
9月1日現在で715件の登録者がある。  
松井洋和委員  
アプリの進化について、今後改良する予定は。

総務課長補佐

アプリ改善については都度協議しているが、ソフトが複雑なので、難しいものもある。

決算委員会 3月14、15日



# 令和3年度決算で議員が注目した事業は？ 決算委員会では7委員が64の質問をしました！

決算委員会 9月14、15日

## ▽ゴミの分別



松井洋和委員

ゴミの分別、減量化への取り組みについて、若年層の分別が問題に見える。村としてゴミの分別の周知はどうか。  
住民生活課長補佐  
窓口でパンフレットを渡し説明している。  
現在、新しいパンフレットの作製を検討している。

## ▽クマの出没



東 隆行委員

近年クマの出没が多いが、罠の数と捕獲数は。産業振興課長  
現在、7機の罠を活用し、3頭捕獲した。  
今年からヒグマ対策が変更され、クマを生活環境に寄り付かせないように対応している。



村内でもクマの目撃情報が増えている

## ▽多面的機能 交付金



松井俊治委員

多面的機能交付金の事業により農道などが整備されてきたが、一定の場所に砂利などを堆積できるような臨機応変な対応を望むが。産業振興課長  
交付金なのでルールに沿って対応している。今後は農協と協議検討していく。

## ▽村民の森 の木製遊具は



吉田保博委員

子供たちが遊べるような遊具は。産業振興課長  
村民の森敷地内の旧遊具は、経年劣化などにより完全撤去した。今後はキャンプ場やサイクルイベントなどの利用を考えている。

## ▽運動広場 リニューアル構想



吉田保博委員

運動広場リニューアル構想とは。産業振興課長補佐  
もっと集客を図るための構想を策定している。  
老朽化したものは更新し、村に滞在する時間を延ばす。

## ▽将来の鶴居 村の方向性は



松井洋和委員

村の人口維持のため、今後、国内ばかりではなく世界に特にアジアに目を向けるなど、さまざまな視野を持つていかなければならないと思うが、村長の考えは。村長  
コロナ禍の中で大きな変化があったが、今後は特に観光の質を上げていかなければならない。

## ▽健全な 財政運営を



及川満浩委員

地方交付税が13%程度増額した。村の健全な財政運営について伺う。村長  
地方交付税は重要な財源であり、さまざまな取り組みができるのが大きく、この先も確保したい。  
限られた財源の中で将来を見据えながら健全な財政運営をしていく。

## ▽幌呂地区の 人口減少



吉田保博委員

幌呂地区の人口推移を考えると、特に子供の人数減による学校の存続が課題と考える。村長  
農事組合の数も減っていく中で今後の村づくりについて伺う。

## ▽GIGA スクール構想



及川満浩委員

児童生徒にひとり一台のタブレットが配布されたが、その管理は。管理課長補佐  
ICT機器やWi-Fi設置管理、学校ホームページの管理を業者に委託している。  
デジタル教材に関する実績はまだない。

## ▽コスモス畑



佐藤吉人議員

下雪裡のコスモス畑の花が、今年はキレイに咲いている。どんな工夫を。産業振興課長補佐  
種の植え方などを工夫した。

## ▽音羽橋の仮設トイレ



佐藤吉人議員

音羽橋に設置された仮設水洗トイレが観光客に好評だが、詳細は。産業振興課長補佐  
令和3年度に224万円を3基設置している。

9月議会  
でどんな  
ことを？

# 地域資源を活用した特産品開発などを行う山村活性化事業で増額補正 議員が注目した事業は？

## 令和4年度各会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計	6270万8千円	46億9406万4千円	全員賛成により可決
水道特別会計	629万7千円	5679万7千円	全員賛成により可決
国民健康保険特別会計	872万7千円	3億6292万7千円	全員賛成により可決
診療所特別会計	311万6千円	3071万6千円	全員賛成により可決
介護保険特別会計	1230万9千円	2億9330万9千円	全員賛成により可決
後期高齢者特別会計	36万6千円	4306万6千円	全員賛成により可決

### 定例会のあらまし

第3回定例会は9月13日に開会し、15日に閉会しました。村長からの提出議案は20件で、内訳は報告2件、決算認定7件、条例案件3件、人事案件2件、補正予算6件です。議員発議案は1件で、すべての議案が原案通り可決されました。

一般質問では、7議員が11項目の質問で村政を問いました。



▽全国の主要コンビニで住民票と印鑑証明書  
1000万円

及川満浩議員  
この事業の詳細は。

住民生活課長  
マイナンバーカードを使い、全国5万4000店のコンビニなどのマルチコピー機で、住民票と印鑑証明書の交付が可能となる。  
時間は6時から23時まで、来年度から利用できる。

大津泰則議員  
今後、戸籍などの各種証明を発行する予定は。

住民生活課長  
まずは要望の多い住民票と印鑑証明書の発行を行い、その後強い要望があれば検討したい。

▽地域資源を活用した特産品活澆  
1045万円

秋里広志議員  
この山村活性化対策事業は3年間の継続事業だが、詳細は。

産業振興課長補佐  
地域資源を活用した新たな特産品開発・広告宣伝・販路拡大などを目的とした国の採択を受けた事業。この事業は令和6年度までの3年間の継続事業となり、全額が国から補助される。



つるいちーズのような新たな特産品を開発できれば

▽エゾシカなどの捕獲奨励金  
450万円

吉田保博議員  
野生鳥獣捕獲等奨励金を増額補正するが、現状は。

産業振興課長  
当初、エゾシカの捕獲数1200頭分を予算化していたが、現時点でそれを越える捕獲数となっているため、今回さらに880頭分を補正計上した。

▽宮城橋改修  
620万円

東隆行議員  
宮城橋は鶴居村と標茶町をつなぐ橋だが、鶴居村が改修工事をするものなのか。  
建設課長  
標茶町との境界にある橋は、すでに管理区分が決まっている。

▽新型コロナウイルス  
ワクチンの予約システム継続契約など  
40万円

及川満浩議員  
オンライン予約の利用状況は。

保健福祉課長  
年代によって利用状況は異なっている。  
4回目の集団接種を行った60歳以上の人たちの場合は、オンライン予約が2割くらい。昨年度の3回目集団接種時の60歳未満のときは5割程度だった。

今後、スムーズな集団接種を行うために、オンライン予約の操作方法の周知を行うなど、できるだけオンラインによる予約を増やす必要がある。

▽教育長の選任  
村上明寛さん  
再任(63歳)



任期は10月1日から3年間

▽教育委員の選任  
坂本和也さん  
再任(48歳)



任期は10月1日から4年間

▽財政は健全

令和3年度決算での健全化判断比率と資金不足比率は良好で、左記のカッコ内の数字を超えると財政健全化計画や外部監査が必要となる。

### 健全化判断比率 (単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (15.00)	— (20.00)	4.7 (25.0)	— (350.0)

※実質赤字額、連結実質赤字額、将来負担額がない場合は「—」と表記する。カッコ内の数字は早期健全化基準を示す。

### 資金不足比率 (単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率
水道特別会計	— (20.0)
農業集落排水事業特別会計	— (20.0)

※資金不足額がない場合は「—」と表記する。カッコ内の数字は早期健全化基準を示す。

9月議会  
でどんな  
ことを？

# 9月定例会 審議した議案と結果



# 一般質問

秋里 広志 議員 P12

- ①新たな観光事業の開発を

佐藤 吉人 議員 P13

- ①下雪裡三差路に逆走防止看板を
- ②北海道遺産簡易軌道の地域学習は

吉田 保博 議員 P14

- ①ボールパーク観戦ツアーを
- ②コロナ陽性者に生活必需品を

東 隆行 議員 P15

- ①農家と地域おこし協力隊員が協力し鹿駆除を

松井 俊治 議員 P16

- ①倉吉農業高校と中学生との交流事業を

及川 満浩 議員 P17

- ①村職員の新型コロナウイルス感染症対策は
- ②今後の特別支援学級の方向性は

大津 泰則 議員 P18

- ①簡易軌道の施設建設は
- ②下幌呂「希の杜団地」の第2次分譲は

## 7人の議員が11項目の質問 村長・教育長へ聞きたいこと

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって、執行機関（村長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。

上程議案	賛成：○ 反対：×	結果	松井俊治	東隆行	松井洋和	佐藤吉人	及川満浩	吉田保博	大津泰則	秋里広志	松井広道
<b>報告</b>											
令和3年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告 財政健全化を判断する比率の報告。本村は問題なし。	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度継続費清算報告 新総合体育館建設事業が令和2年度と3年度の2年間に継続したための報告	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>条例の制定・一部改正</b>											
村の休日を定める条例等の一部改正 年末年始の休日を国や道などに合わせ12月29日～1月3日までとする改正	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
村長の調査等の対象となる法人の範囲を定める条例の制定 村が1/4以上出資する法人に対しても調査できるようにする改正	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
村職員の育児休業等に関する条例の一部改正 法改正による育児休業や介護休業など取得緩和の改正	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>令和3年度決算の認定</b>											
一般会計	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道特別会計	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
診療所特別会計	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>令和4年度補正予算</b>											
一般会計（第5号） 主にプレミアム商品券発行事業などの増額計上	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道特別会計（第1号） 主に前年度繰越金の確定	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計（第1号） 主に前年度繰越金の確定	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
診療所特別会計（第1号） 主に前年度繰越金の確定	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計（第1号） 主に前年度繰越金の確定	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計（第1号） 主に前年度繰越金の確定	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>任命</b>											
教育委員会教育長の任命 村上明寛さん	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命 坂本和也さん	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>意見書（国に提出）</b>											
国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書	全員賛成	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（注）議長は賛否を表明しません。賛否同数の場合のみ議長採決として表明します。

お詫びして訂正いたします。

前号（議会だより174号）の中学生模擬議会のなかで、幌呂中学校3年 武藤里沙子 さんのお名前の漢字を間違えて表記してしまいました。

誠に申し訳ございませんでした。

# 新たな観光事業の開発を

将来に向け継続して行われる事業を。



あきさとひろし 秋里広志 議員

村長 広域観光の可能性も模索しながら取り組む

## 秋里

本年度の村の観光費で、新たな交流人口創出を目指した観光事業として、JALと共同で航空機チャーターによる湿原上空を遊覧飛行する事業が予算化されています。当初、11月上旬に行う予定と聞いていたが、この事業の意義と内容について伺います。

また昨年は、鶴居村の広大な自然を活用した新たな観光事業の開発を目指し、「鶴居空中散歩」熱気球から眺める「釧路湿原」として実証実験を行いました。総括として、どのような方向性にあるのかについても伺います。

## 村長

鶴居村の広大な自然を活用した釧路湿原の観光コンテンツは、温根内ビジターセンターの木道散策、キラコタン岬や宮島岬の散策、ホーストレッキングなどがあり、昨年度の熱気球事業に続き、今年は航空機貸し切りによる遊覧飛行の実証実験を計画しています。

熱気球の参加者アンケートによると、気球から見たい風景としては「湿原」と「牧場や畑」という回答が多く、感想としては、「上空から見る雄大な景色が良かった」、「普段体験出来ない風景を上空から眺めることのできる非日常感を楽しんでいる」などの回答があり、上



飛行機で釧路湿原遊覧飛行

空から鶴居地域を眺めることは、非日常的な体験として村民にも喜んでいただける観光コンテンツであると考えます。しかし、気球の打ち上げは制限区域や風などの影響を考慮しなければならず、特に打ち上げ可能な場所、季節や時間は限られており、気象状況にも左右され催行率も低く、本村や釧路湿原の景観を十分に味わうことが難しいという課題も見えました。

搭乗者については、地域の関係者や子供たちを対象とするほか、近隣市町村の観光関係者や旅行会社などを招いて、広域観光の可能性も模索しつつ、実証実験の考えのもとで事業に取り組みたいと考えています。

11月5日に釧路空港発着によるフライトを予定しており、遊覧飛行に加えて出発前の空港見学などを検討しています。

## 村長

持ち帰り検討します。

# 下雪裡三差路に逆走防止看板を

間違って逆走する車を見かける。事故が怖い。



さとうよしとむと 佐藤吉人 議員

村長 年内中にも注意看板が設置される予定

## 佐藤

タンチョウウネぐら撮影の国際的にも有名な音羽橋から、道道53号線に向かい、右折して鶴居市街方向に向かう車両が、設置されている看板を理解できないまま右折し、逆走車両になります。

また、大きな事故は発生していませんが、本地点への逆走啓発の看板を設置していただきたいと考えますので見解を伺います。

## 村長

主要道道53号釧路一般道道243号阿寒標茶線が分岐する下雪裡交差点は、平成16年に上り車線、下り車線にそれぞれ右折や左折の専用



間違って逆走する恐れがあります。

レーンが設けられ現在の線形に改良されています。この交差点は、地元地域からも標茶町や下久著呂方面からの通行車両が鶴居方面に向かうときに、反対車線を逆走し事故につながる恐れがあることを指摘されています。

村としては、この状況を確認し道路管理者である北海道釧路建設管理部へ早期の改善を要請したところであり、年内中にも新たな注意看板が設置される見通しです。

# 北海道遺産鶴居簡易軌道の地域学習

## 佐藤

2018年の開村80周年記念誌の中に、「児童が「3つの宝物はみんなの笑顔です。」と書いています。この3つとは鉄道歴史記念館、23の駅名標、軌道の復活のことです。

この児童の作文により、私は簡易軌道村内外関係者への聞き取りや現地踏査を始めました。

現在、簡易軌道公園計画が進行中ですが、小学校の地域学習の中で、この簡易軌道についての記述があるかと思えます。その内容はどのようなものか伺います。

## 教育長

より身近な地域の様子を学ぶことができるよう、教育委員会では、教科書の内容を補完する教材として「郷土読本つるい」を作成しており、村

内各小学校で活用しています。この郷土読本の中で「鶴居軌道」を取り上げており、軌道が敷かれる前の村の様子や大正末期の軌道を敷く工事、昭和初期の馬に引かせたトロッコ、その後、木炭カー、ディーゼルカーへと移り変わってきたことや、軌道が人や物資の運搬を担うことで村が発展してきたこと、昭和40年代には軌道からバスや自動車交通の中心となっていたことなどを記載しています。子供たちは、軌道の歴史を学ぶことを通して、当時の村の様子や軌道の発展に伴う生活の変化などを考えることができ、地域に対する理解を深めることにつながるものと考えています。

教育委員会としては、こうした学習を通して、子供たちのふるさと・鶴居村に対する誇りと愛情を養うことができよう、引き続き学校と連携して取り組んでまいります。

# 農家と地域おこし協力 隊員が協力し鹿駆除を

村長 鳥獣被害対策協議会で実証試験を



あづま たかゆき  
東 隆行 議員

**東** なかなか減少しない鹿、10年前は5月から8月頃までは大きな群れを作らなかつたが、近年では20頭から40頭ぐらいの群れを見かけるようになりました。

9月から翌年4月までは30頭から60頭の群れで畑に出没するようになって来ました。

そこで村が「くくり罠」を大幅に増設し、地域おこし協力隊員に罠を設置してもらい、農家が見回りし、罠に掛かっていれば協力隊員に連絡するという形を取ってみてはどうかと思いますが、考えを伺います。



なかなか減少しないエゾシカ

**村長** 北海道から発表された東部地域のエゾシカ生息数は、前年度並みの31万頭と推定されており、減少傾向にはないと判断できません。

こうした状況の中、村は昨年より鳥獣被害対策に専門知識や捕獲技術を有する地域おこし協力隊員を任命し、地元猟友会と連携しながら精力的に対策を講じ、狩猟などによるエゾシカ捕獲の徹底を図ってきました。

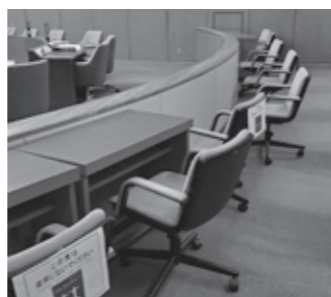
その結果、昨年度の狩猟によるエゾシカの捕獲数は2079頭と過去最高となりましたが依然として増加の傾

**東** 夜行性でもあり、群れでの行動をしているので罠が有効だと思いますので検討を。

**村長** 土地の所有者の承諾が、鹿以外の鳥獣がかからないように注意しなければならぬので協議会で検討します。

議会だよりは要約されています。  
臨場感ある本会議場へお越しください。

議会の傍聴お待ちしております。  
次回定例会は12月14日(水)10時～役場2階(予定)



# ボールパーク観戦ツアーを

コロナで疲弊している村民に明るく元気になる企画を。

村長 村主催の観戦ツアー実施は難しい



よし だ やすひろ  
吉田保博 議員

**吉田** 幌呂老人クラブの皆様と懇談する機会があり、「以前に開催された日本ハムファイターズの観戦ツアーが強く印象に残っている。来年、北広島市にボールパークが完成し、日本ハムファイターズの新球場として運営される。世界一の球場と言われているので村で観戦ツアーを企画できないか。」という要望がありました。

コロナウイルスで疲弊している村民の皆様が元気になるような企画をどうしようか。見解を伺います。

**村長** 本村と日本ハムファイターズの直接的なつながりは、チームの北海道移転10周年記念企画「市町村応援大使事業」において、本村が平成26年の対象市町村に選ばれ、現在、アメリカ大リーグで活躍中の大谷翔平選手と、中村勝選手の2選手が本村の応援大使となっていたものです。

この応援大使事業の一環として、平成26年8月には札幌ドームのソフトバンクホークス戦に招待を受け、小学生から大人までの100人ほどの村民が観戦ツアーに参加しました。この観戦ツアーは、観戦チケット代やバス代金などのツアー費用は、日本ハム球団の負担で行われています。

そこで、観戦ツアーを実施した場合、前回のようには早朝から深夜までの日帰り観戦となると、参加者の体力的な負担も考慮しなければならず、事情によっては、観戦後の宿泊が必要になることも考えら

**吉田** 村内のコロナウイルス感染症陽性者が散見されている状況にあります。

家族がひとり陽性者になると、全員が濃厚接触者となり数日間の外出禁止となります。

**コロナ陽性者に生活必需品を**

**村長** 感染した方々のうち、自宅で療養される軽症者や無症状の方には、保健所から食料品や日用雑貨などが配布されますが、業務が逼迫した場合は、配布までに時間を要することもあるようです。

高齢世帯の方や周囲に頼れる親族などがいない方が療養初期に食料などの確保が難しい場合には、村として一定程度の食料などを提供できるように配慮したいと考えています。

村民の皆さんに対しては、万が一の感染などに備えても、ろうため、数日分の食料や生活必需品、解熱剤などの備蓄に日々配慮されるよう広報していきたいと考えています。

れます。

さらに、観戦チケットの確保や今後の感染状況は見通せないものの新型コロナウイルス感染症が流行する中での団体行動は多くの課題やリスクが生じます。

これらのことを考慮したとき、村民の皆さんが来春に開放されるボールパークの魅力などに触れることについては大変意義のあることと認識しますが、現状村が主催する観戦ツアーの実施は難しいものと考えます。

陽性者や濃厚接触者に外出禁止期間の食料品をはじめとした生活必需品等をお見舞い品として、配布することは出来ないでしようか、見解を伺います。



# 倉吉農業高校と中学生との交流事業を

60年以上の交流、延べ700人以上が酪農実習生として本村に。



まつい しゅんじ 松井俊治 議員

## 村長 新たな形での交流を探りたい

**松井** 鳥取県倉吉農業高校の生徒3名が7月27日から8月12日の17日間、酪農実習生として村内の農家で研修しました。私の牧場でも一名の生徒を受け入れ、搾乳、牛舎の掃除、仔牛の哺乳等を手伝ってもらい、充実した研修期間であったと感じています。

さて、鶴居村と倉吉農業高校との農家研修は昭和31年から始まり、今までに700人以上の生徒を受け入れています。この長い歴史の中で酪農家と倉吉農業高校生徒の付き合いはあるものの、村の生徒との交流が無いのが残念であります。



鳥取県の倉吉農業高校

鶴居村と鳥取県という環境の違う人達（生徒間）の交流は将来いい経験になると思います。交流事業として村の生徒を派遣してどうかと考えますが、見解を伺います。

## 村長

歴史ある鳥取県倉吉農業高校の酪農実習生受け入れが、3年ぶりに実施され、村内3農場にそれぞれ1人ずつの生徒がお世話になりました。鳥取県倉吉農業高校との酪農実習による交流は、昭和31年以来これまでに60年余りの

長い月日を経て、互いの歴史と伝統を築きあげてきました。酪農を基幹産業とする本村において、大変名誉な取り組みと認識しています。そこで、質問にある本村の生徒との交流などについては、次代を担う人材や農業後継者育成などの観点からも、大変意義ある相互間の交流になると考えますが、高校側や鳥取県の意向を十分に把握すべきものであり、互いが理解し合意形成が図られたものでなければなりません。今後、鳥取県の関係者などと意見を交わしながら新たな形での相互間の交流や学習機会の可能性を探りたいと考えています。

## 松井

村中学生を鳥取県に派遣し中学生との交流を含めて検討しては。

## 村長

慎重な協議が必要だと思えますので教育委員会とも協議したい。

## 表紙の写真



10月10日(月)に開催された新総合体育館ファミリスポアップのオープンセレモニーで、国内外で活躍している指揮者、石川征太郎さんの指揮で鶴居中学校吹奏楽部が演奏した時の一コマです。

# 村職員のコロナ対策は

村の感染予防策として職員の行動規範のようなものは。



おいかわみちひろ 及川満浩 議員

## 村長 今後も感染防止行動の実践を徹底

**村長** 国や北海道で示す対処方針などに基づき、地域に及ぼす影響など

**及川** 感染者数はなかなか減少に転じません。むしろ増加傾向にあります。村の現状に対しての考えを伺います。

また、村職員の感染も報告されており、行政運営と健康管理の影響も懸念されます。村職員は制限緩和や研修などにより長距離の移動や研修への参加機会も増加してきていると思われまます。村は感染症予防対策としての行動規範のようなものを設定しているのか伺います。

を考慮しながら各種会議や行事などの開催自粛や公共施設の利用制限、さらに経済活動や日常生活などへの対策を講じ、感染症対策に取り組んでいく考えです。

次に、職員の出張や研修、公務による会食などの取り扱いについては、長距離を移動するときにはできる限り公用車を使用し、他の都府県への出張や感染が疑われる場合は、抗原検査による確認なども行っています。

今後も、感染防止行動の実践を徹底しながら、職員を感染から守り行政運営の維持に努めていく考えです。



オミクロン対応のワクチン接種も始まる

## 今後の特別支援学級の方向性は

## 及川

文科省は「特別支援学級に在籍する児童生徒が、大半の時間を交流及び共同学習として通常の学級で学び、特別支援学級において障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた指導を十分に受けていない事例がある」とし、各教育委員会に対し、原則として週の授業時数の半分以上を目安として特別支援学級での授業を行うよう求めました。今後の対応を伺います。

## 教育長

本村小中学校の特別支援学級では、授業時数の大半を交流学級で指導しているケースもみられますが、そうしたケースは、保護者の意向を可能な限り尊重した上で、児童生徒一人一人の障がいの状態などを踏まえて交流や共同学

習を実施しており、教科学習の場合も、通常学級の学級担任や教科担任とともに特別支援学級担当の教員や支援員が適切な指導を行うことで、各教科の授業内容がわかり、学習活動に参加している実感・達成感を持つことができるよう、指導体制を整え年間指導計画に位置付けて実施していきます。私としては、今後とも、特別支援学級に在籍する児童生徒と通常の学級に在籍する児童生徒が、互いに尊重し合いながら生活する態度を育むことができるよう、交流や共同学習を適切に実施したいと考えています。

また、鶴居村では、多くの教師が特別支援教育の専門性向上に主体的に取り組むことができるよう、道教委と連携して研修機会を確保するなど、必要な対応をとっています。

# 原油価格高騰対策購入助成券や 緊急経済対策支援交付金

施設の名称：村民スポーツ・健康増進施設  
所在地：鶴居村鶴居西1丁目1番地  
指定管理者：株式会社むらづくり鶴居  
代表取締役 長尾法明  
契約の期間：令和4年9月1日から  
令和6年3月31日

## ▽指定管理者の指定

8月5日に臨時会を開会しました。  
専決処分1件、補正予算1件、その他1件の合計3件の議案審議を行い、すべての議案が原案通り可決されました。

# 第3回臨時会

## ▽住民税非課税

### 世帯へ臨時給付金

553万円



及川満浩議員

この給付金は令和3年度に受給した世帯には配布されないとのことです。

#### 保健福祉課長補佐

今回の給付金は、令和3年度は住民税課税世帯で、令和4年度に新たに非課税世帯になった世帯への給付金となる。

## 村長

「北海道の簡易軌道」として北海道遺産に選定され、現在、ふるさと情報館東側前庭に、自走客車と牽引用ディーゼル車両を静態保存・展示し、今年度中に釧路製作所で修復した貨車も移動させる予定です。



おおつ やすのり 大津泰則 議員

## 大津

北海道遺産である簡易軌道は、村の歴史的財産として保存・展示するために、施設のコンセプトやゾーニングプラン、当時の簡易軌道関係者による座談会の記録など、情報収集も充実したものになっています。

ただ、この施設は、遠軽町丸瀬布いこいの森のように、多くの観光客の集客も見込める観光施設としての役割もあり、このことも十分配慮しながら、簡易軌道車の保存展示場所を協議検討して欲しいと考えています。

そこで、施設建設についての現状を伺います。

## 一般質問 大津泰則

## 「希の杜団地」の

### 第2期分譲は

## 大津

下幌呂希の杜が完了しましたが、分譲計画が前倒しされることも考えられるのでしょうか。

社会経済状況が悪化していますが、売却したことにより、分譲地販売計画が前倒しされることも考えられるのでしょうか。

また、下幌呂地域の人口は現在477人で、分譲が始まると500人を超え「下幌呂ニュータウン」として街が形成されていくと思います。

将来に向けて、特に公共施設の整備を図っていくべきと思いますが、今後の分譲販売計画と地域の将来展望について考えを伺います。

## 村長

平成27年から26区画の分譲を開始した下幌呂希の杜団地第1期分譲地は、販売開始から7年ほどが経過し全区画の分譲が終了しました。

第2期の分譲地造成については、第1期分譲地の東側に計画しており、現時点では、令和8年度以降の過疎後期計画で整備を予定しています。

新たな分譲地の造成には、課題となる残土の処理を行ったうえで、光ケーブルの増設なども考慮しなければならぬと考えています。

下幌呂地域は、この10年ほどで定住人口や世帯数が大きく伸びており、定住促進の目的で推進してきた分譲地造成による活性化の効果は極めて大きかったと認識しています。

今後も住宅需要が高い下幌呂地域への新たな分譲地造成の必要性は理解しています。

現時点では、村全体の均衡ある発展を促すことも必要であり、住宅需要の高い鶴居市街地やその周辺で、新たな分譲地の確保を図ることを検討しています。

## ▽原油価格等高騰緊急経済対策支援交付金

710万円



及川満浩議員

この交付金の対象者として商工会に加盟する中小事業者などとなっているが、加盟していない個人事業者などは対象になるのか。

#### 副村長

コロナの影響が長期化するなか、原油価格や物価高騰の受ける村内事業者に経営継続などを目的に5万円を支援する事業。

財源にも限りがあるため、今回は商工会に加盟する事業者と酪農畜産業を営む農業者を対象としている。

## ▽子育て世帯生活

### 応援臨時支援金

813万円



秋里広志議員

この支援金の対象者に高校生とあるが、専門学校生などは対象になるのか。

#### 保健福祉課長補佐

コロナの影響が長期化するなか、原油価格や物価高騰の受ける子育て世帯の生活支援を目的に高校生一人あたり3万円、中学生以下一人あたり2万円を支援する事業。

高校生と表記したが、高校生と同等の年齢であれば支給対象となる。

# マウンテンバイク クロス カントリーオリンピック 選手の黒瀬です。

地域おこし協力隊員  
株式会社むらづくり鶴居出向  
くろせ ぶんみや  
黒瀬 文也 さん



皆さんこんにちは。

8月8日から鶴居村地域おこし協力隊（株式会社むらづくり鶴居出向）として着任しました黒瀬文也と申します。

私はマウンテンバイク クロスカントリーオリンピック（MTB XCO）選手として北海道から全国大会へ出場しています。大学時代には大学生日本代表として世界大会にも出場しました。8月のTSURUI サイクルフェスティバルにも運営として協力していました。

鶴居村で働くことになったきっかけをお話します。

大学時代に「HOTEL TAITO」さんからのスポンサーを受けていたことがきっかけで鶴居村に何度か遊びに来ており、鶴居村の林道を走らせてもらっていました。鶴居村の自然環境、村の方がとても優しく接していただき、「この村に住みたいな」とは思っていました。

体育系の大学を卒業後、1年半札幌の大手小売り会社に勤めました。

自分の力を抑えて仕事をしていると感じており、もっと自分の力を発揮できるところはないかと他の仕事を探していたところ、鶴居村民の方がFacebookで地域おこし協力隊募集のシェアをしているのを見て早速村へ電話してみたところ、まだ空いているとの連絡を受けてすぐに履歴書を送り、面接、合格！ その後に鶴居村へ引っ越し。

着任後すぐTSURUI サイクルフェスティバルの準備、ファミスポ・アップのオープンと忙しいですが、とても楽しく仕事をさせていただいています。

現在は地域おこし協力隊ですが、株式会社むらづくり鶴居へ出向のため村民スポーツ・健康推進施設（ファミスポ・アップ）の運営、ふるさと納税の管理を業務として行っています。

今後も選手活動とフルタイムワーカーとして業務もしっかりとこなしていきたいと思います。そして自転車の事業も今後行いたいなと検討しています。

鶴居村から全国、世界へ魅力を発信していきます。今後ともよろしくお願いたします。

趣味はルアーフィッシング、ドライブ、三味線五段、アニメ鑑賞です。



## 住民の声

発行責任者	議長	松井広道
広報広聴常任委員会	委員長	松井洋和
	副委員長	松井俊治
委員	委員	吉田保博
委員		佐藤吉人